4th All Japan Adaptive Stand-up Tennis Tournament

第 4 回全日本障がい者立位テニス選手権大会

報告書

Report

General Incorporated Foundation
JAPAN ADAPTIVE STAND-UP TENNIS ASSOCIATION

一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会

2024.6.10

第4回全日本障がい者立位テニス選手権大会　実施概要

日　　時　令和6（2024）年5月19日（日）
受付開始 9:15～、開会式 10:00～、試合開始 10:30～

場　　所　成田市　重兵衛スポーツフィールド　テニスコート　千葉県成田市中台 5-2
No1~8 コート（オムニコート）

主　　催　一般社団法人　日本障がい者立位テニス協会（JASTA）

後　　援　千葉県・成田市・成田市教育委員会・公益財団法人日本テニス協会

協　　賛　タムラクリエイト株式会社（Ken's）・BNPパリバ・グループ・ヨネックス株式会社
株式会社キモニー・ウィンザーラケットショップ

大会委員長　柴谷　健（JASTA）

競技委員長　中川　勝就（公益財団法人日本プロテニス協会・JASTA）

副委員長　成島　代志子（JASTA）

参加資格　身体障害者手帳を保有し、肢体に障がいがある方
（四肢のいづれかの切断、欠損、片麻痺、四肢麻痺、先天性の奇形）

ク ラ ス　PST-1・PST-2・PST-3・PST-5

出場者数　23名（PST-1＝5名・PST-2＝5名・PST-3＝ 10名・PST-5＝ 3名）

参 加 費　5,000円（一般）・3,000円（JASTA PLAYERS CLUB会員）

競技種目　シングルス

審判方法　セルフジャッジ

競技方法　PST-1・PST-2＝総当たり戦
JTA テニスルール・ノーアドバンテージ 6ゲーム先取
PST-3＝トーナメント方式（コンソレーションマッチ有り）
JTA テニスルール・ノーアドバンテージ 6ゲーム先取
本戦決勝戦のみ8プロセットマッチ
PST-5＝総当たり戦
規定のコートサイズ、オレンジボール使用、ノーアドバンテージ 6ゲーム先取
それ以外はJTA テニスルールに準じる

使 用 球　PST-1~3　＝　ヨネックス　ツアープラチナム
PST-5　＝　ヨネックス　マッスルパワーボール30（オレンジボール）

関係者数　18名（出場選手を除く大会運営スタッフ総数）

来場者数　約40名

開催へのご支援お礼

この大会は、日本で（おそらくアジアオセアニア地域でも）唯一の障がい者立位テニス競技の全日本競技大会です。第１回大会は 2019 年 5 月に開催され、今回が第 4 回大会となります。

今大会は、千葉県、成田市、成田市教育委員会、公益財団法人日本テニス協会 (JTA) からのご後援と 5 社のご協賛を賜りました。大会運営スタッフは JASTA PARTNERS CLUB のメンバーや選手のご家族を中心に、名乗り出て下さった 18 名にお願いしました。お陰さまで、事故もなく大会を終えられました事をご報告し、ご支援頂きました全ての皆様に心より感謝を申し上げます。

今大会は、来年同じ会場で開催されるアジア地域で初めてとなる立位テニスの国際大会「TAP JAPAN OPEN 2025」のテスト大会として、さまざまな運営トライアルを行いました。

1. Para Standing Tennis のクラス分けと競技ルールの導入（来年の国際大会に合わせて）
2. 掲揚ポールの使用（日本国旗、成田市旗、JASTA 旗を掲揚）
3. 一般来場者も自由に参加できる Sports SDGs イベントの併催（義足体験、ストラックアウト、立位選手とラリー）
4. 音響設備の導入（ワイヤレスアンプとマイクを持ち込み、呼び出しアナウンスを徹底）
5. 揃いのユニフォーム（来年の国際大会に向けてホストとなる意識を醸成する）

昨年の大会は、天候に悩まされましたが、今年は晴れ過ぎす暑過ぎず、風も穏やかで絶好のテニス日和となりました。北は茨城県、南は徳島県から 26 名がエントリーがありました。その中で、自己都合で 2 名がエントリー取り消し、前日に棄権が 1 名あり、23 名の選手が障がい別の 4 つのクラスに分かれて戦いました。

今年から、クラス分けと競技方法を変更しました。昨年まで JASTA が採用していたのは、立位テニスを創出した南米チリの TAP FOUNDATION のカテゴリー分けと競技ルールでした。それをベースに日本独自のカテゴリーを追加し JASTA の基準としていました。しかし現在は TAP FOUNDATION が活動を休止し、新たにヨーロッパでパラバドミントンを参考にした Para Standing Tennis (PST) のクラス分けと競技ルールが生まれました。コロナ収束後に開催される国際大会がこのクラス分けと競技ルールを採用するケースが増えました。今年、ヨーロッパで開催される国際大会は初めて国際テニス連盟（ITF）の公認を受けて開催されます。パラリンピック種目入りやプロ競技化を目指すには、国際的に統一したクラス分けや競技ルールが採用されていることが重要と考え、日本でもそのクラス分けと競技ルールを取り入れ、日本独自のクラスも追加した形に変更しました。選手登録者に付与される JASTA POINT も今大会前に全て無効となり、今大会の取得ポイントによって新しいランキングが作られます。今大会から初めて低身長のみのクラス PST-4 ができましたが、まだ認知度が低く、1 人しかエントリーがなかったために、ご本人の意思を確認した上で、PST-3 に変更して出場いただきました。今後の競技者の獲得が課題となります。

グランドスラム 4 大会でも、様々な障がい者テニスを紹介するショーケースイベントが併催され、その中で立位テニスにもスポットが当たっています。JASTA 所属の日本人選手も、国際大会へ出場し、好成績を残しています。立位テニスは確実にステップアップしています。これからも立位テニスに、JASTA に、どうぞご期待下さい。

第 4 回全日本障がい者立位テニス選手権大会
大会委員長
柴谷　健　Ken SHIBATANI

会場アクセス

＜成田市　重兵衛スポーツフィールド中台＞

- 電車

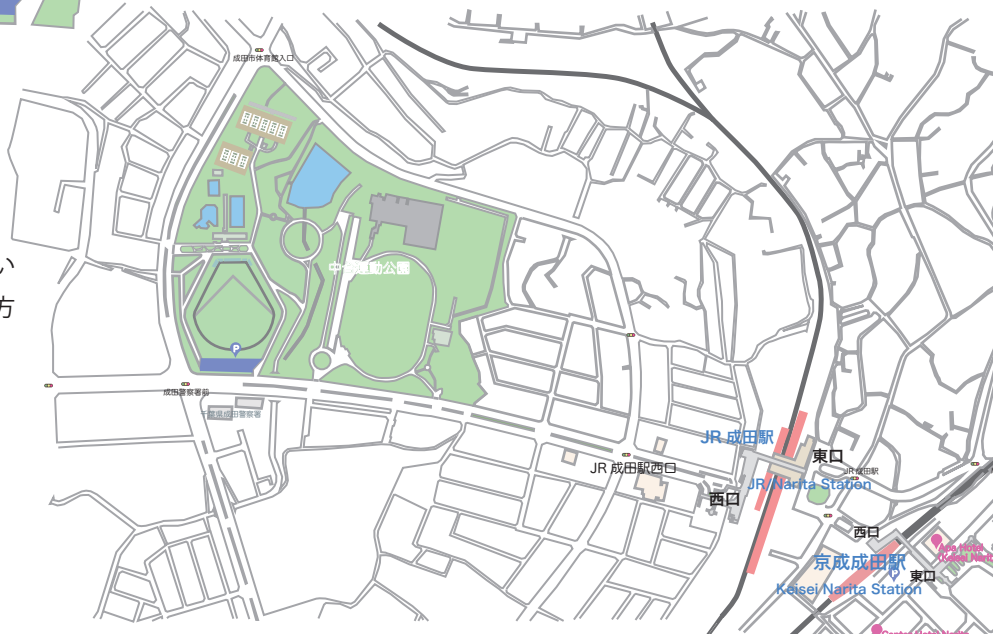
  JR 成田駅西口より徒歩 15 分

- 車

  第 1 駐車場または第 4 駐車場（いづれも無料）

第 1 駐車場からテニスコートへは平坦なルートのため荷物の搬出入と下肢障がいの選手に推奨
第 4 駐車場からテニスコートへは傾斜のあるルートのため、一般来場者とタクシー利用の選手に推奨

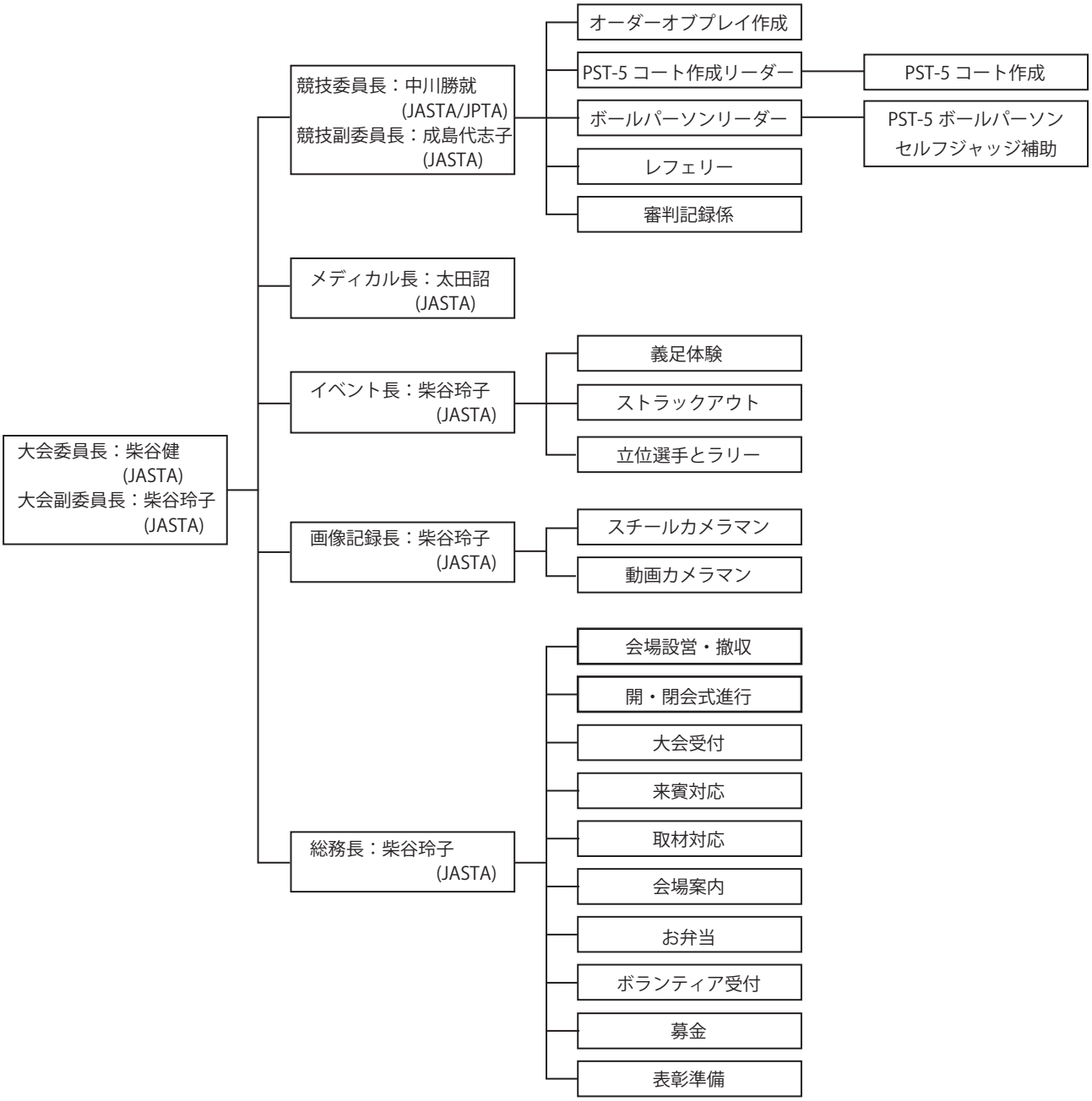
出場選手の中には体温調節が難しい方や身障者用トイレを必要とする方もいます。大会実行委員会では、成田市にご協力を要請し、コート直近のプール利用者用施設を特別に解錠して利用させて頂きました。



スケジュール

2023 年 11 月下旬	成田市へ大会利用希望申し込み（優先予約希望申請）
2024 年 2 月 15 日	成田市より日程確定通知 ・施設管理者と大会利用打合せを持ち、利用を確定
2024 年 3 月中旬	大会告知開始、協賛依頼開始 ・予算書・大会要項作成開始 ・後援・広告協賛依頼、新規協賛を得るため各方面に交渉開始
2024 年 3 月下旬	協賛決まり始める・キービジュアル作成 ・後援・広告協賛依頼、新規協賛を得るため各方面に交渉開始 ・大会専用 Web ページ開設
2024 年 3 月 29 日	大会要項リリース、出場申し込み受付開始 ・大会スタッフ募集開始
2024 年 4 月初旬	後援決まり始める ・千葉県、成田市、成田市教育委員会より後援名義使用許可
2024 年 4 月中旬	ポスター、チラシ作成 ・実行予算書作成、告知物の発送、告知協力要請 ・JASTA ユニフォームの作成開始
2024 年 4 月 26 日	大会出場申し込み締め切り
2024 年 4 月 27 日	各制作物発注、備品購入開始 ・表彰用品・イベントのぼり、協賛バックバナー発注 ・大会使用球・運営用品等購入 ・運営マニュアル・スタッフ役割分担作成、Zoom ミーティング
2024 年 4 月 30 日	ドロー会議
2024 年 5 月 1 日	公益財団法人日本テニス協会よりメールにて後援名義使用許可
2024 年 5 月 3 日	ドロー発表 ・パンフレット入稿 ・保険加入
2024 年 5 月初旬	運営スタッフと打合わせ ・運営マニュアル・スタッフ役割分担作成、Zoom ミーティング ・お弁当予約、協賛品受領、パンフレット受領 ・備品を仕分け
2024 年 5 月中旬	搬入協力車両に積み込み ・当日配布物のプリントアウト
2024 年 5 月 19 日	大会当日
2024 年 6 月 10 日	大会報告書作成 ・報告書・収支報告書作成、後援・協賛・協力の各所へ報告（5 月末）

組織図



大会運営スタッフ（敬称略、あいうえお順）

雨宮郁夫・泉　仁志・宇野勝比古・宇野典子・太田　詔・神﨑　空・神﨑千鶴・木村輝弥・坂倉陽子
柴谷　健・柴谷玲子・庄内久美・髙野修・髙野洋子・高橋　唯・中川勝就・成島代志子・原田聖也

大会運営を支えて下さり、ありがとうございました。

大会当日の傷病発生時の受け入れ依頼先

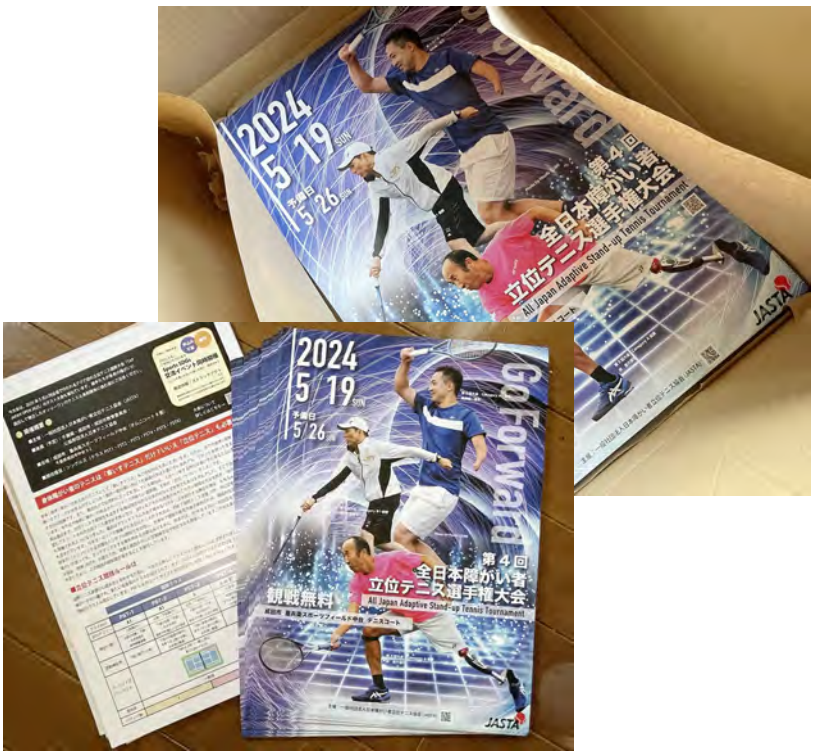
成田赤十字病院（院長　角南勝介先生に書面にて依頼）

キービジュアル・印刷物

＜キービジュアルデザイン＞

この大会は、障がい者立位テニス競技の日本一を決める大会である。そこで優勝者に敬意を表し、前大会の各カテゴリー優勝者の写真をキービジュアルに使用する事を通例としている。
今回の 3 選手は、第 3 回大会優勝者。Category A1 の髙野健一選手、Category A の岸俊介選手、Category B1 の青木祐成選手。第 3 回大会の時に、プロカメラマンの泉仁志氏に撮影頂いた写真を撮影者と本人の許諾を得て使用。

ヘッドコピーの「Go Forward」は、「前進する」という意味。今大会から現在の国際的な主流に合わせたクラス分けと競技ルールに変更して行われる大会なので、前回大会より一歩前進していることを表す。背景にはラケットのストリングをイメージし、輝く活躍を見せる選手を引き立たせるデザインを心掛けた。



- ポスター（フルカラー）
  A2 タテ　200 枚
- チラシ
  （表裏フルカラー）
  A4 タテ　2,000 枚

ご後援頂いた成田市、協賛各社、障害者スポーツセンター、テニス関係企業等に配布して大会告知

- 大会パンフレット（フルカラー）
  A4 タテ　20 ページ
  400 部

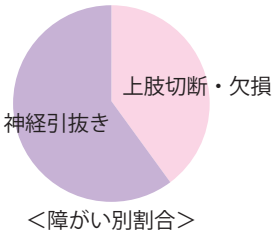
広告掲載 6 社
弊協会主催大会案内（年内国内大会と、来年の国際大会）の紹介と、国際的な立位テニスの歩みを掲載。
全国から集まる選手同士の交流や応援に役立て、競技者を理解してもらう為に選手の顔写真とプロフィールを掲載

大会当日に選手とスタッフに配布
後援、協賛先には後日発送
（ドロー表は当日別途配布）

ドロー・結果

プレゼンター：タムラクリエイト株式会社　代表取締役　田村賢司様（JASTA 特別顧問）

PST-1



＜障がい別割合＞

Photo by Hitoshi Izumi

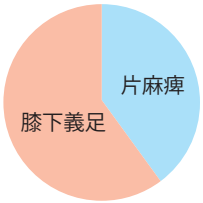
優勝　髙野健一選手（千葉県）

Photo by Hitoshi Izumi

準優勝　藤川昌大選手（徳島県）

	Kenichi Takano 髙野健一	Soichiro Sato 佐藤聡一郎	Yuto Adachi 足立優斗	Soichiro Hosokawa 細川颯一郎	Masahiro Fujikawa 藤川昌大	勝　敗	順位	JASTA point
髙野健一		⑥－0	⑥－1	⑥－0	⑥－2	4勝0敗	1	2,000
佐藤聡一郎	0－6		⑥－5	⑥－3	1－6	2勝2敗	3	960
足立優斗	1－6	5－6		⑥－4	0－6	1勝3敗	4	720
細川颯一郎	0－6	3－6	4－6		0－6	0勝4敗	5	630
藤川昌大	2－6	⑥－1	⑥－0	⑥－0		3勝1敗	2	1,200

PST-2



＜障がい別割合＞

Photo by Hitoshi Izumi

優勝　村山巧弥選手（神奈川県）

Photo by Hitoshi Izumi

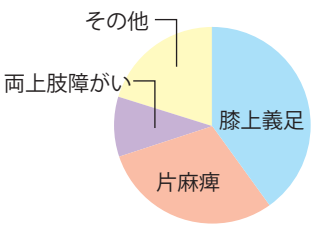
準優勝　高原安浩選手（東京都）

	Koya Murayama 村山巧弥	Takuya Ninomiya 二宮卓也	Kazuo Tabata 田畑和郎	Nobukatsu Kuramoto 倉本信勝	Yasuhiro Takahara 高原安浩	勝　敗	順位	JASTA point
村山巧弥		⑥－4	⑥－0	⑥－0	⑥－4	4勝0敗	1	2,000
二宮卓也	4－6		⑥－0	⑥－2	RET2－2	2勝2敗	3	960
田畑和郎	0－6	0－6		3－6	0－6	0勝4敗	5	630
倉本信勝	0－6	2－6	⑥－3		2－6	1勝3敗	4	720
高原安浩	4－6	②－RET2	⑥－0	⑥－2		3勝1敗	2	1,200

ドロー・結果

プレゼンター：タムラクリエイト株式会社　代表取締役　田村賢司様（JASTA 特別顧問）

PST-3



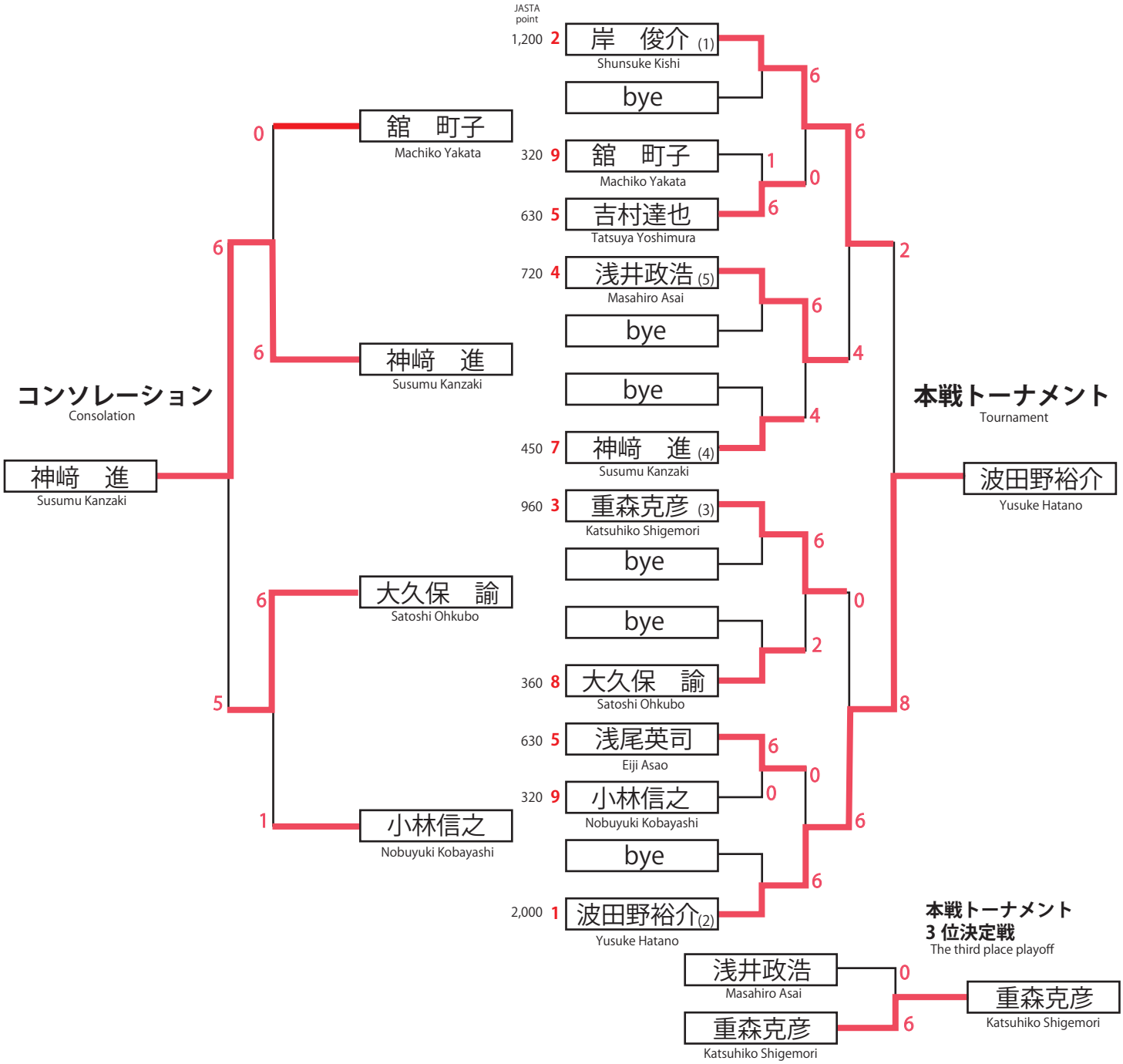
＜障がい別割合＞

Photo by Hitoshi Izumi

優勝　波田野裕介選手（神奈川県）

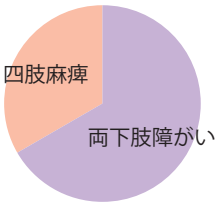
Photo by Hitoshi Izumi

準優勝　岸　俊介選手（神奈川県）



プレゼンター：タムラクリエイト株式会社　代表取締役　田村賢司様（JASTA 特別顧問）

PST-5



＜障がい別割合＞

Photo by Hitoshi Izumi

優勝　関谷　譲選手（茨城県）

Photo by Hitoshi Izumi

準優勝　青木祐成選手（東京都）

	Yusei Aoki 青木祐成	Joe Sekiya 関谷　譲	Kana Ohwaki 大脇佳奈	勝　敗	順位	JASTA point
青木祐成		5 － 6	⑥－ 4	1勝1敗	2	1,200
関谷　譲	⑥－ 5		⑥－ 2	2勝0敗	1	2,000
大脇佳奈	4 － 6	2 － 6		0勝2敗	3	960

PST-4　PST-6

エントリーが実施最低ドロー数（2 ドロー）を下回ったため、今大会では実施されませんでした。PST-4 の舘町子選手は、同じクラスに 1 名のみのエントリーだったため、ご本人の意向により PST-3 に出場されました。

優勝・準優勝選手が表彰式で着用しているのは、副賞として贈呈されたオリジナル T シャツ。来年同じ会場で開催される「TAP JAPAN OPEN 2025」のキービジュアルと大会日程と場所がプリントされている大会告知仕様。これを着て大いに大会告知に協力いただきたい。

開会式

All Photo by Hitoshi Izumi

成田市観光キャラクターのうなりくんも市政施行 70 周年 T シャツを着て応援に駆けつけてくれました。

成田市シティプロモーション部　部長の伊藤善光様より、「成田市は共生社会の実現に取り組んでいる」とのご挨拶をいただきました

競技説明は、競技委員長の中川勝就様よりご説明いただきました

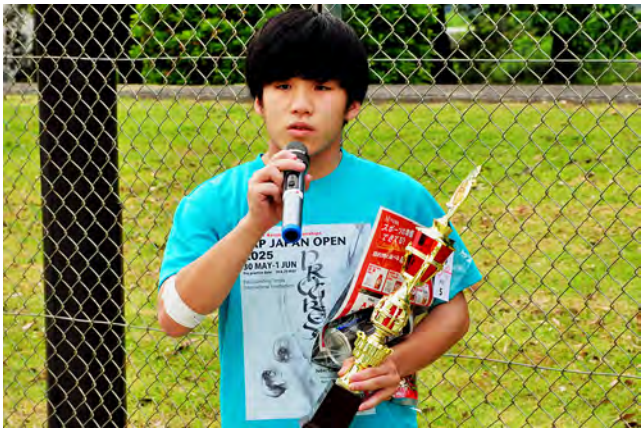
表彰・閉会式

All Photo by Hitoshi Izumi

各カテゴリー優勝・準優勝選手

＜表彰プレゼンター＞ JASTA 特別顧問
タムラクリエイト株式会社　代表取締役　田村賢司様（写真前列左から 3 人目）

優勝者にはトロフィー、準優勝者には盾を贈呈
副賞は入賞者が着用している「TAP JAPAN OPEN 2025」の告知 T シャツ



入賞者のスピーチ、PST-5 優勝の関谷選手の「自分の姿を通じて共生社会の実現に繋げたい」との熱い思いに一同感激しました

＜大会委員長＞
JASTA　柴谷健よりお礼の言葉

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi

設営時のスタッフミーティング

シングルスポール設置（PST-5 以外）とネットにカテゴリーバナー設置

no.1~5 コート　大会バナーと協賛バナー全景

掲揚ポールを利用（左から成田市旗、日本国旗、JASTA 旗）

No.6~8 コート　大会バナーを設置

オーダーオブプレイ準備

本部設営

選手受付

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi

選手もスタッフもうなりくんと写真を撮影

選手もスタッフもうなりくんと写真を撮影

選手待機スペースにブルーシートを敷き、プールのベンチを設置

ウォーミングアップは壁打ちコートを利用

オーダーオブプレイを確認する選手

開会式は JASTA ユニフォームを着用し心を一つに

開会式の選手足元

表彰式には運営本部が並ぶ

Photo Gallery

Photo by JASTA

＜協賛品＞ヨネックス様よりツアープラチナム（大会使用球）

＜協賛品＞キモニー様よりグリップテープ（参加記念品）

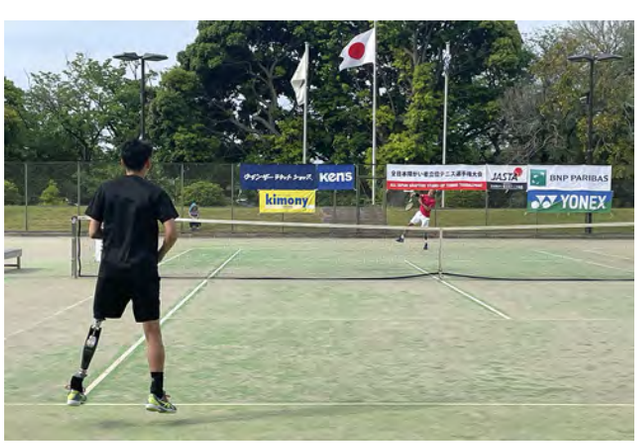
＜協賛品＞ウィンザーラケットショップ様より今治タオル（参加記念品）

＜試供品提供＞大正製薬様よりリポビタン JELLY Sports

スタッフ用のビブスを準備

JASTA ユニフォームを制作

本部から選手に手渡すスコーカードとボールを入れる袋を準備
上肢障がいのある選手に持ちやすいと好評でした



国旗がたなびく中、決勝戦を行う選手

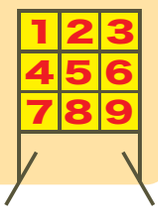
Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi

Sports SDGs 交流イベント

国際大会のテストとして誰でも参加できる障がい理解のための交流イベントを午後の空きコートで実施しました。

・ストラックアウト
・義足体験
・立位選手とラリー



＜ストラックアウト＞1 人 1 回 1 分で何枚パネルを打ち抜けるか

＜ストラックアウト＞選手もスタッフも挑戦

＜ストラックアウト＞選手のご家族や一般来場者も挑戦

＜義足体験＞健常者の方に擬似的に義足を体験して頂きました

＜義足体験＞初めての感覚に最初は緊張気味

＜義足体験＞特に履きこなすのが難しいのが大腿義足

＜立位選手とラリー＞来場者とも、異なるクラスの選手同士とも

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi

出場選手

出場各選手は、自身の障がいに合わせて自分だけのテニスを獲得しています。
競技大会に出場することで、日頃から研鑽を積んでいる自分の実力を発揮し高める機会になっています。手や足や体幹に障がいがあっても、立ってテニスをすることを諦める必要はありません。

<PST-1>足立優斗選手・左腕神経叢引き抜き損傷

<PST-1>佐藤聡一郎選手・右腕神経叢引き抜き損傷

<PST-3>細川颯一郎選手・ポーランド症候群、右手短合指症

<PST-2>倉本信勝選手・左下腿切断

<PST-2>田畑和郎選手・左片麻痺

<PST-2>二宮卓也選手・左下腿切断

<PST-3>浅井政浩選手・左片麻痺（装具あり）

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi

＜PST-3＞浅尾英司選手・右大腿切断

＜PST-3＞大久保諭選手・左大腿切断

＜PST-3＞神﨑　進選手・四肢の関節拘縮症

＜PST-3＞小林信之選手（初）・右下肢機能障害

＜PST-3＞重森克彦選手・右片麻痺

＜PST-3＞吉村達也選手・左片麻痺、左半盲（ラインジャッジ補助）

＜PST-3＞舘町子選手（初）・軟骨無形成症（本来は PST-4）

＜PST-5＞大脇佳奈選手・二分脊椎症

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi

収支報告

2024 年 6 月 10 日作成

収入の部

項　目	金額 (円)	内　容
参加費	69,000	3,000 円／ 1 人、23 名参加
特別協賛金	400,000	2 社様より（タムラクリエイト株式会社・BNP パリバ・グループ）
広告協賛金	0	
協力金	300,000	成田市様より
協会負担金	0	収入より支出が上回る分を負担
収入合計	769,000	

支出の部

項　目	金額 (円)	内　容
会場使用料	0	会場使用料は 100%免除
都市公園占用使用料	0	
大会使用球費	5,362	オレンジボール 2 ダース　イエローボールは ご協賛のため購入なし
印刷費（※）	70,640	A4 チラシ 2,000 枚、A2 ポスター 200 枚 A4 パンフレット 400 部、A4 報告書　150 部
デザイン版下作成費	50,000	R-WORKS
会場装飾費	107,779	大会バナー・バックボード作成・サイン関係
配布資料制作費	20,000	対戦表、トーナメント表
会場装飾備品費	0	既存流用
PST-5 コート作成備品費	3,150	50mm 巾マスキングテープ
事務用品費	0	既存流用
表彰用品費	125,620	優勝トロフィー 4 点、準優勝盾 4 点、副賞
参加賞費	99,378	大正製薬リポビタン Sports、T シャツ
送料・通信費（※）	24,078	チラシ、ポスター、資料の発送費
衛生・救護用品費	107	冷却パック
会議費	0	会議室利用料、喫茶代
選手・運営スタッフ昼食費	22,140	お弁当＋水
運営スタッフ謝金費	43,000	3,000 円 ×11 名、5,000 円 ×2 名
旅費交通費（※）	1,960	高速料金、ガソリン代（未精算分あり）
イベント保険費	2,690	95 名（選手、スタッフ）想定
大会本部経費	67,898	競技委員長、競技副委員長、大会メディカル経費
大会記録費	20,000	スチールカメラマン 1 名
マニュアル・資料作成費	50,000	space design studio arc
雑費	3,090	振込手数料など
未精算分見込み	約 20,000	送料他 約 20,000 円
支出合計	736,892	（※）6 月 10 日現在未精算の大会経費有り

収入合計 769,000 円　-　支出合計 736,892 円　＝　32,108 円

※　6 月 10 日現在、未精算の支出があります。支出では見込み額を計上、収入より支出が上回る場合は協会負担金とし、収支がプラスマイナス 0 になるようにします。余剰金は協賛各社さまとの取り決めにより弊協会活動費に算入します。

The 4th Champions & Runners　第4回チャンピオンと準優勝者

Photo by Hitoshi Izumi

PST-1 優勝　左手の指欠損の髙野健一選手

PST-1 準優勝　右上肢引き抜き損傷の藤川昌大選手

PST-2　優勝　左片麻痺の村山巧弥選手

PST-2　準優勝　左下腿義足のの高原安浩手

PST-3　優勝　左大腿義足の波田野裕介選手

PST-3　準優勝　左大腿義足の岸　俊介選手

PST-5　優勝　二分脊椎症の関谷　譲選手

PST-5　準優勝　頸髄損傷の青木祐成選手

全ての写真、文章は一般社団法人日本障がい者立位テニス協会（JASTA）に帰属します。無断転載を禁じます。